

ロックキー・マウンテン・トレイルランニング

2016年7月30日～8月5日アメリカ、コロラド州、Tellurideに滞在し、WMS, ISMM, UIAA Medcom 合同 meeting に参加した。会議や学術集会に出席したが、せっかく来たので、早朝にロックキー・マウンテンでトレランを行った。ゴンドラの階段を上がるだけで息が切れるのでエコノミー症候群を起こしたかと心配したが、Telluride の町自体が標高 2800m である。シャモニが 1200m だからこっちのほうがずっと高い。

8月4日朝6時前に起床。サマータイムなのでまだ薄暗い。トイレと水分補給を済ませ6:30出発。外に出たら朝7時～深夜12時運行のゴンドラはまだ止まっている、と思ったらゴンドラ駅の方へ走り始めた途端ゴンドラが動き始めた。やばい、せっかく人のいないロックキーを独り占めしようと思ったのに先に登られてしまう。日本の林道のようなトレイルの入り口のクローズされたゲートには自転車×マークと山×マークが貼られている。ゴンドラ運行が始まると入り辛い。小川沿いの開放されているトレイルを 500m ほど下流に下り、駐車場を通って入るトレイルのゲートも閉まっているが、人がいないので気軽にに入る。そのことは7月31日にランニングをした際に確認していた。そこを通って登り始めた。

トレイルは山の斜面をゴンドラに沿って南西につづら折りに上がり、途中でゴンドラ山麓駅の横から続くトレイルと案の定合流し、ゴンドラの標高 3500m の山頂駅付近に続いている。そこから南東へ方向を変え少し上ると南北に走る稜線に出て、南に向かう。





山肌には広大なスキー場があり、稜線沿いにも 5 つほどのリフト終点があった。
最後のリフト終点に着く前に、大きな雷の音が聞こえた。なんとか Gold Hill 山頂まで行つ
てすぐに引き返そうと考えた。



4000m を超える Gold Hill 山頂まで標高差 10m、距離 50m と思われるところまで達したときには、2 回目の雷が鳴った。リスクはあるがさっさと行って山頂をタッチしてすぐ戻つてぐるか。しかし山頂の向こうには暗雲が垂れ込めておりとっても怪しい。



雷に打たれて死ぬのは山では最も楽な死に方だから行っちゃうか。でも死ねない。この会議に参加した目的である認定山岳医委員会の委員長の仕事を途中で投げ出すわけにはいかない。同委員会の特別教程「救助」も開始しなければならない。まだ小中学生の娘たちや妻も

いる。結局踵を返してもと来た道を戻った。後から来た何人もの登山者やトレイルランナーとすれ違った。彼らに「雷が鳴っているから気を付けてね」と話した。

会議の開催まではまだ時間があるので、山頂駅からゴンドラで降りるという選択肢は捨て、走って降りた。The Vitorian Inn に戻ったのは 9:30 だった。登頂はあきらめたが、4000m を超えるロッキー山脈でトレランを行えたことは自分の登山史の 1 ページに入れてもよいだろう。クライミングも刺激的で良いけれど、トレランも山とお友達になったみたいで素敵だ。